

料金後納郵便

ゆうメール

毎月1回5日発行
令和8年5月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

5

2026
May

NO.817



[特集] 新年度 抱負を語る



高岡商工会議所青年部

つじい のりお
会長 辻井 紀生

(株)花金

高岡市大手町11-32 Tel.24-4411

座右の銘：最も強い者が生き残るのではない。
最も賢い者が生き残るでもない。
唯一生き残るのは変化できる者である。

Be Ambitious

～変化を恐れず、次なる一步へ～

私たち高岡商工会議所青年部は、昭和41年の発足以来59年にわたり、地域の皆様と共に歩み、未来を見据えた挑戦と努力を積み重ねてまいりました。その礎となったのは、偶然の成功ではなく、長い歳月を通して磨かれてきた志と行動の積み重ねです。時代が移り変わっても、地域経済の発展を支えるという使命を胸に継続してきた歩みこそが、今日の信頼と存在意義につながっています。

令和8年度、私たちは新たな決意として「Be Ambitious」を掲げます。この言葉は「大きな志を抱け」という意味であり、「自分や組織の未来をより良くするために、高い目標や広い視野を持ち続けよう」という思いを込めています。しかし、それだけではありません。変化を恐れず未知の領域へ踏み出す勇気や、自らの可能性を信じて行動する姿勢も同時に求められています。さらに、青年部の一人ひとりが現状維持にとどまらず、自身を成長させ、企業の発展につなげ、その力を地域の未来へ循環させていく、その挑戦の精神を象徴するスローガンです。

創立60周年という節目は、歩んできた歴史を見つめ直すと同時に、新たな時代を切り拓くスタートライン

でもあります。私たちは先人から受け継いだ志を胸に、次の世代へ希望をつなぐための挑戦を力強く進めてまいります。「Be Ambitious」を合言葉に、高岡の未来をつくる力となるべく、青年経済人として誇りをもって前進していきます。

●4月5日(日)総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、来賓も参加し約150名が参加しました。令和7年度事業計画・収支決算報告、令和8年度事業計画(案)・収支予算(案)が滞りなく承認され、藤田直前会長から辻井新会長にバトンが受け継がれました。

辻井新会長は、「今年度、私たちは創立60周年という輝かしい節目を迎えます。地域の歩みを支えてきた誇りを胸に、スローガン『Be Ambitious～変化を恐れず、次なる一步へ～』を掲げ、高い志と恐れぬ勇気をもって新たな時代を切り拓きましょう。自らの成長を地域の発展へと繋げ、未来を創る先導者として、共に高岡の明日を力強く創造していきましょう!」と挨拶されました。

今年度の事業計画案として、創立60周年の節目を祝い、地域の皆様と新たな賑わいを創出する『60周年記念事業委員会』や、60年の歩みを誇りに組織力を高める『60周年式典委員会』、ライフプランや財務知識を深め、計画的な資産形成を通じて自己・自社の持続的発展に取り組む『資産形成委員会』等が新設されました。

〈今年度主要事業〉

- ◆60周年記念式典・祝賀会、記念事業の開催
- ◆多様な人材がさらに活躍する企業を推進していく事業
- ◆生成AIを企業で活用していく事業
- ◆個人、企業資産を形成していく事業



専務理事就任のご挨拶

なかがわ こうじ
高岡商工会議所専務理事 中川 康治

このたび、3月23日開催の通常議員総会において専務理事に選任され、5月1日付で就任いたしました。日頃より当所の運営にご理解とご協力を賜っております会員の皆様ならびに関係各位に、心より御礼申し上げます。

さて、地域経済を取り巻く環境は、人口減少や人手不足、物価高騰に加え、急速なデジタル化や産業構造の変化などにより、先行きの見通しが立てにくい状況が続いております。一方で、新たな技術の活用や観光需要の拡大など、地域の可能性を広げる動きも見られます。

このような中、当所といたしましては、高岡市における中小企業・小規模事業者の経営基盤強化を最重要課題と位置付け、現場に即した支援の充実に努めてまいります。また、関係機関との連携を一層強化し、地域産業の振興とにぎわいの創出に取り組んでまいります。

微力ではございますが、高岡市の地域経済の持続的発展に尽力してまいりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



高岡商工会議所女性会

会長 くろかわ まさみ 黒川 雅美

(有)黒川商事
高岡市野村1603-1 TEL25-0980
座右の銘：案ずるより産むが易し

ともに学び、地域へ彩りを

高岡商工会議所女性会は昭和39年に設立され、一昨年には創立60周年という大きな節目を迎えました。長い歴史の中で先輩方が築いてこられた情熱と伝統は、私たちの誇りであり、未来へ受け継ぐべき大切な財産です。

今期、会長としての大切な役割を担わせていただくにあたり、これまでの歩みを尊重しつつ、地域経済の状況が大きく変化する今だからこそ、女性ならではの視点と柔軟な発想で新たな挑戦に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

近年、「女性活躍」「ダイバーシティ推進」「働き方改革」が社会全体で重要視される中、多様な経験を持つ会員が集うことは、私たちの大きな力となっています。共に学び合い、支え合い、地域に新しい価値を生み出す場として、女性会の役割はますます広がっています。

これまで会を支えてくださった皆様への感謝を胸に、地域社会とのつながりを深め、交流事業や研修、地域イベントへの参画を通じて、地域の活力向上に寄与できる女性会を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

●4月16日(木)総会が開催されました

高岡商工ビルにて定時総会が開催され、会員30名が参加しました。令和7年度事業報告・収支決算報告、令和8年度事業計画(案)・収支予算(案)が滞りなく承認され、河合前会長から黒川新会長にバトンが受け継がれました。

黒川新会長は「新しいことにも挑戦しつつ、地域社会に貢献し、親しまれる会を目指したい」と意気込みを語りました。

今年度事業として高岡古城公園応援チャリティーライブケントス高岡の実施や横浜全国大会への参加が承認されました。

〈今年度主要事業〉

経営、文化、教養、各種資質向上をねらいとした研修や講演会の開催／チャリティー事業の実施／県内女性会・友好団体との連携・交流／全商女連横浜全国大会への参加／会員増強運動および組織強化の推進



高岡伝統産業青年会

会長 のさか かずし 野阪 和史

(有)色政
高岡市横田本町11-32 TEL25-4350
座右の銘：「色と技で、人と時代をつなぐ」

「あなたの武器になる職人衆。」

今年度は「あなたの武器になる職人衆。」をスローガンに掲げ、活動してまいります。

原材料価格の高騰や社会環境の変化により、ものづくりを取り巻く状況は大きく変化しています。これまでのやり方だけでは乗り越えられない場面も増え、「良いものを作っていれば自然と伝わる」という時代ではなくなってきていると感じています。

その中で、技術は守るだけでは続かないと考えています。人に伝わり、使われ、人と人をつなぐことで、はじめて次の時代へ受け継がれていくものです。一人ひとりが持つ技術や経験を「武器」として磨き、それをどう伝え、どう活かしていくかが、これからの産地にとって重要になってきます。

今年度の青年会活動では、良いものづくりを土台としながら、それを伝える力、そして人のつながりを生み出すことに取り組んでまいります。個の力を高めると同時に、それを産地全体の力へとつなげていく一年

にしていきたいと考えています。

また、青年会はすぐに答えが出る場ではありませんが、同じ志や課題を持つ仲間と学び、経験を重ねることが出来る場です。会員一人ひとりが自ら考え、行動し、それぞれの力を高めていくことで、やがて所属企業や地域への還元につながっていくものと考えています。本年度もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●4月9日(水)総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、会員16名と来賓11名が参加しました。野阪会長は今年度のスローガン『あなたの武器になる職人衆。』を掲げ、「一人ひとりの技術や経験を武器とし、どう活かすかを考え、取り組んでいきたい」と挨拶されました。

昨年に引き続き、「クラフツーリズム」や「ツギノテ」内でのイベント「産業博覧会」に加えて、新たにリクルート事業も企画・実施します。

〈今年度主要事業〉

クラフトフェア「ツギノテ」産業工芸博覧会、高岡クラフツーリズム、什器刷新、SNSを活用したリクルート事業

P H O T O

L I B R A R Y



4.4

犬山商工会議所との交流連携事業

産業界や地域社会の広域連携を推進

当所と犬山商工会議所（愛知県）は平成24年度から広域交流と観光振興を目的に、一年毎に高岡市と犬山市を訪問し交流を続けている。両市は、歴史的文化資産を活かしたまちづくりを進めるなど共通点が多く、今年は、能作 克治会頭をはじめとした5名が犬山市を訪問した。合同友好交流会では、犬山商工会議所の友好提携先である石垣市商工会（沖縄県）・日南商工会議所（宮崎県）、今年は新たに犬山市の姉妹都市である丹波篠山市（兵庫県）・日南市・立山町も参加し親睦を深めた。



4.6

2026新社会人のつどい

新社会人が社会人の心構えを学ぶ

「2026新社会人のつどい」が高岡市生涯学習センター（ウイング・ウイング高岡）で開催され、高岡市内の32事業所から今春就職した新社会人128名が参加した。先輩の体験発表では、(株)高岡市衛生公社 飛騨 勇誠さんが自身の経験をもとに社会人としての心構えや仕事への向き合い方について語った。また、民宿あおまさの女将でフリーアナウンサーの青木 栄美子氏による講演とビジネスマナー講座も行われ、参加者は社会人としての基本的なマナーや心構えを学んだ。



4.7

健康経営祝賀&記念フォーラム

健康経営について理解深める

当所とアクサ生命保険(株)が主催し、高岡商工ビルで、「健康経営優良法人認定祝賀&実践フォーラム」を開催した。健康経営優良法人に認定された事業所や今後申請予定の企業等21社38名が集まり、(一財)北陸予防医学協会 永田 義毅理事長による特別講演や、令和7年度とやま健康経営企業大賞の(株)開進堂による自社で取り組む健康経営の事例発表、「女性の健康を健康課題に」をテーマに丸紅(株)が講演を行い、健康経営の課題や取り組みについて情報交換した。



4.7

クルーズ船「ウエステルダム」が伏木港に寄港

今年度初の入港

オランダ船籍の豪華クルーズ客船「ウエステルダム」が高岡万葉ふ頭に寄港した。欧米を中心とした乗船客約1900名が、国宝である瑞龍寺や勝興寺をはじめとした県内外の観光地を巡るバスツアーに参加した。出港に際しては、高岡第一高校ダンス部が見送りのパフォーマンスを披露し、大勢の住民や関係者が見送る中、次の寄港地である山形県酒田港へと出港した。

なお、クルーズ船の伏木富山港への寄港は、本年度あと4回予定されている。



たかおか朝市

地元の野菜、雑貨求めにぎわう

今年最初のたかおか朝市が坂下町通りで開催され、地元の農産物や雑貨などを買求める家族連れらでにぎわった。当日はオープニングセレモニーが行われ、たかおか朝市実行委員会の酒井 敏行委員長は「中心市街地を盛り上げたい。家族や友人とともに楽しんでほしい」と呼びかけた。朝市は10月まで毎月第2・第4日曜日に開催される。期間中は市営御旅屋駐車場が午前5時半から8時まで無料開放されるほか、開催日には「朝市電車」（米島口発5時31分→坂下町着5時43分）も運行され、利用者にはRACDA高岡のサービス券（200円分）が進呈される。



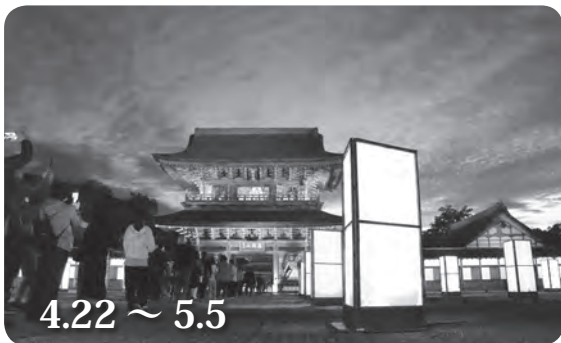
珠算能力検定試験1級合格証書授与式

日商検定1級合格者を表彰

日本商工会議所主催の珠算能力検定試験1級合格者への合格証書授与式を高岡商工ビルで行い、能作 克治会頭が合格者の健闘を称え、証書と記念品を手渡した。授与式では能作会頭が「今後も珠算に励み、更なる高みを目指してほしい」と激励した。第236回の1級試験には 全国で4,782人が受験し、1,421人が合格している。

第236回取材能力検定試験1級合格者

狩野 玄磨さん（芳野中学校2年生／田子スクール）



瑞龍寺ライトアップ

光と歴史の幻想美

国宝瑞龍寺を舞台に、春の特別夜間拝観「光彩陸離」が始まった。ライトアップと幻想的な音楽が織りなす演出により、大伽藍は荘厳かつ幻想的な雰囲気包まれ、来場者はその美しさに見入っていた。大茶堂には、高さ約3メートルのジャイアントフラワーが設置され、フォトスポットとして多くの来場者の注目を集めた。このほか、「美濃和紙」を用いた「美濃あかりアート」の展示など、会場は多くの人で賑わいを見せた。



伏木観光まつり

復興願い、多くの人で賑わう

伏木の春の恒例イベント「伏木観光まつり」が伏木コミュニティセンターで開催された。昨年に引き続き、震災からの復興を前面に打ち出した内容で行われ、大勢の地域住民らが芸能発表やマルシェなど多彩な催しを楽しんだ。

目玉の一つである地元消防団によるはしご乗りと木遣り唄のパフォーマンスでは、「がんばろう伏木」の垂れ幕が掲げられ、会場は大きな拍手に包まれた。マルシェには、スイーツ、手芸品などの店舗が出店し、家族連れをはじめ多くの来場者が買い物を楽しむ姿が見られ、地域に活気と笑顔が広がる一日となった。

